

CWA NEWS



待ちに待った令和4年度交流会



参加者全員で記念撮影



伊藤 稔 常務理事



堂本 暁子 元千葉県知事



龍野 一郎 理事

総会が開催された6月19日の午後、プラザ菜の花の3階に会場を移動して3年ぶりに交流会が開催されました。

冒頭にご挨拶された伊藤稔常務理事をはじめ役員や会員など42名もの方々に加え、今回はCWA設立の発起人であった堂本暁子元千葉県知事も出席され、ウィスコンシン州訪問の思い出などを楽しそうに語って下さいました。そして、交流会に花を添えたのは、2019年に友好使節団としてウィスコンシン州を訪問した南行徳花組の皆さんです。ノリノリの曲「おまつりマンボ」と「炭坑節」に合わせて

よさこいを披露され、交流会参加者も一緒になって踊りの輪ができるなど、会場は一気に盛り上がりました。

龍野一郎理事の乾杯の音頭で始まった会食が一段落すると、今年の夏に離任するALTの Jon KangasさんとLewis Hurdさんによるプレゼンテーションが行われました。2017年から県立佐倉高校に勤務するJonさんは、5年間のALT生活が充実していたことに加え、人生の一大イベント、結婚をされたと報告。看護師の戸谷さんとの出会いや冬に訪問したウィスコンシン州の思い出など、お二人のエピソードを語るJonさんの顔は、幸せに輝いていました。また、2019年から県立松戸国際高校に勤務するLewisさんは、来日当初は納豆や温泉にとっても戸惑ったが、今では納豆も抵抗なく食べられるし温泉も大好きになったこと、教育現場でも文化的なギャップの中でご苦労されたことなど、本音のお話がとても興味深く、様々な課題を克服できたのも周囲のサポートがあったお陰であり、チームワークの力だと感慨深げに話されました。なお、JonさんとLewisさんは離任後、大学院に進学されるそうです。

最後に大原美保子副委員長が盛会裏に終えられたことへの感謝を述べた後、全員が記念写真に納まり閉会となりました。



南行徳花組の皆さん



会場の様子

交流会
パート
2

6月19日(日)の交流会では、離任するALTがスライドを使って思い出などを語りました。また、残る2人のALTからメッセージが寄せられました。



Jon Kangas (千葉県立佐倉高等学校)

5年間ALTとして勤務しました。私は、ウィスコンシンのミルウォーキーとマジソンの間の小さな町、ウォータータウン(水の町)から来ました。ウィスコンシンの小さな町はみんなどこでも同じです。しばらくトウモロコシ畑が続いたあと、大豆畑、牛、トウモロコシ畑、レンガ造りの建物、バー、協会、マクドナルド、牛、牛、鹿、トウモロコシ畑が延々と続きます。

旅行や異文化体験が好きで全国各地を旅行したり、茶道を紹介する日本の旅行ガイドの作成にも携わりました。佐倉高校では放課後、ESS(英会話クラブ)で、より実践的な英語体験をしたい生徒たちと何時間も過ごしました。将来はアメリカの大学院で語学教育を学び、学生時代日本語を学んだウィスコンシン州のセント・ノーバート大学で英語講師を務める予定です。

最近千葉で知り合った人と結婚しました。今後数年間はアメリカで一緒に暮らす予定ですが、いずれは日本に帰ってきたいと思っています。



Lewis Hurd (千葉県立松戸国際高等学校)

3年間ALTとして勤務しました。納豆を初めて食べた時1パック食べるのに30分かかりました。健康に良いので食べ続け今では大好きになりました。当初温泉は裸になるので違和感がありましたが、一度風呂でリラックスした時間を過ごすことができてから好きになりました。

日本で、カルチャーショックやホームシック、異文化の中で自分が部外者であるという感覚など様々な体験をしました。松戸国際高校は生徒数が多く、生徒の名前を覚えるのに苦労しましたが、仕事を通じていろいろな人と知り合え楽しかったです。他の英語の先生と協力することは大変なこともありま

したが、とてもやりがいがありました。

今後台湾の大学院に進み、古代中国文学や東アジアの歴史についてもっと学びたいと思っています。この秋からの新たな国際的チャレンジを楽しみにしています。

離任ALTからのメッセージ

Matt Rath sack (千葉県立土気・千城台高等学校)

このプログラムに参加したのはたった1年ですが、プログラムのおかげで多くのことを経験することができました。日本に来て、私は緊張し、怖くなり、日本での生活で何が起るか不安でしたが、同僚や友人たちのサポートのおかげで、私は多くを学び、成長することができました。土気高校と千城台高校の皆さんは、この1年間とても親切にしてくれました。日本の伝統的な楽器を習ったり、京都の美しいお寺を見たり、草津の温泉に浸かったり、この一年間で経験できたことは私の大きな宝物です。

私のALT生活は終わりましたが、いつかまた日本に来て、この1年間にできた友達に会いたいです。皆さん、ありがとうございました。



David Garcia (千葉県立柏井高等学校)

私が千葉ウィスコンシンALTプログラムに参加したのは、日本で働くという貴重な機会を得るだけでなく、将来どのような方向に進みたいかを理解するためでもありました。この2年間を通して、私は学校への帰属意識と充実感を感じ、魅力的な文化と社会を体験しました。そして最も重要なことは、私の人生をほんの少し明るくする日常の瞬間を再発見できたことです。私は、世界だけでなく、自分自身と将来進みたい道についてより深く理解しこのプログラムを修了します。このプログラムが私にもたらした意味を正確に表現することはできませんが、感謝とお礼の気持ちを表現できれば十分です。

このような素晴らしい機会を与えてくれたプログラムに心から感謝し、一人の人間を通じて世界を変えられる千葉ウィスコンシンALTプログラムのさらなる成功を願っています。



令和4年度理事会

5月31日(火)、ホテルポートプラザちば(千葉市中央区)において、令和4年度理事会を開催し、当協会の特別顧問である熊谷俊人知事をはじめ、顧問(代理)1名、理事11名(うち代理2名)、監事2名が出席しました。

冒頭、茂木友三郎会長は「残念ながら、コロナ禍のため記念すべき姉妹交流30周年にあたる2020年に、ウイスコンシン州からの友好使節団を迎えてお祝いすることができませんでした。一層交流を発展させるためにご意見をお願いします」と挨拶しました。続いて、熊谷俊人知事からは、「本県とウイスコンシン州との姉妹交流の推進について、茂木会長をはじめ皆様に多大なご尽力をいただき心から感謝します。県としても、千葉ウイスコンシン協会をはじめ、県内の市町村や団体、大学などと連携しながら、交流を継続していきたい」との挨拶がありました。

その後、令和3年度の事業報告及び収入・支出決算、令和4年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)等6つの議題が審議され、いずれも総会に付議されることになりました。次いでウイスコンシン州との交流状況についての事務局からの報告があり、出席者による積極的な意見交換で幕を閉じました。

なお、理事会での意見交換の内容(抜粋)は、下欄をご覧ください。



令和4年度定期総会

6月19日(日)、ホテルプラザ菜の花(千葉市中央区)において、令和4年度定期総会を開催し、正会員21名(この他委任状提出会員57名)が出席しました。

冒頭、大澤克之介副会長から、国際協力・国際協調が危機にある今だからこそ、こういった地域レベルでの国際交流を息長く、末永く続けていくことが両国の理解に繋がると思っている旨の挨拶がありました。

その後、会員の笹生健司さんを議長として、令和3年度の事業報告及び収入・支出決算、令和4年度の事業計画(案)及び収入・支出予算(案)、理事・監事の選任(案)について審議が行われ、すべて原案のとおり承認されました。



理事会での意見交換の内容(抜粋)

- 今回、県では、スポーツ・文化局を新設した。東京オリンピック・パラリンピックで得られたレガシーを県民の皆様に還元し、スポーツの振興、文化の振興を図るとともに、こうした取組を海外の皆様との交流に活かしていきたい。引き続き、協会と連携しながら、本県とウイスコンシン州との交流が、30年という記念の年を通過点として、さらに10年、20年と続くよう、しっかりと取り組んでいきたい。
- これまで交流は県の施設などで行われてきた。今後千葉の魅力・食文化や観光地を見ていただくことで、SNSでの発信にもつながるのではないかな。
- 県のスポーツ・文化局と力を合わせて、県全体の文化・芸術の振興を図っていく予定だ。千葉ウイスコンシン協会とも、できることがあれば、文化・芸術交流の面で是非協力をさせていただきたい。
- 今後はウイスコンシン州との交流も直接Face to Faceできて、さらに交流が深まることを祈っている。
- やはり、お互いの文化を知ることは大事だ。
- この30年、本学は2009年の開学後、何回か派遣・受入に参加させていただき、貴重な経験をした。高齢化社会や人員不足への対応などお互いに参考にできることは多いと思われるので、もっと交流を深めていきたい。
- ウイスコンシン州はアメリカの中でも酪農が盛んな州であり、微力ではあるが今後も交流をさせていただきたい。
- ウイスコンシン州から来ているALTは、モチベーションや性格、教える技量などがかなり優れているので、是非ウイスコンシン州からのALTを増やしていただきたい。
- ウイスコンシン州にあるグリーンベイ・パッカーズと千葉県にあるオービック・シーガルズの間では既に交流が行われている。県内のもう一つIBM BIG BLUEも含めて、アメリカンフットボールで交流が進むことを期待している。
- 国際情勢が厳しい中、海外ビジネスの支援を行っているが、時々貿易に影響があるような生々しい話が聞こえてくることもある。そういった中だからこそ、ビジネスのベースは信頼関係から始まるので、千葉県とウイスコンシン州との交流もますます重要になる。

令和4年度事業計画

[事業方針]

前年度までの事業実績をもとに、さらに多くの方にウィスコンシン州の魅力を知っていただけるよう、各分野の事業内容のより一層の充実を図ってまいります。なお、国等の新型コロナウイルス感染防止対策の動向をみながら、事業内容を適宜変更する等適切に対応するほか、オンライン等の新しいツールを活用した新たな事業の可能性について検討し、状況に応じて実施してまいります。

[事業内容]

- 1 定例会の開催

 - ・理事会、総会：各1回
 - ・運営委員会：原則として毎月第二土曜日に開催、委員会の前に各部会を開催
- 2 ウィスコンシン州との交流事業の企画・運営

ウィスコンシン州友好使節団の受入

 - ・時期：令和5年度に延期
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
 - ・受入団員数：20名程度
- 3 会員等交流事業の開催

 - ・交流会&Farewell Party (6月19日(日))
 - ・新任ALTを歓迎する会 (10月2日(日))
 - ・食文化交流会 (11月頃予定)
- 4 CWAの活動及びウィスコンシン州に関する広報事業

 - ・CWA NEWSの発行 (3回)
 - ・CWAホームページによる各種情報提供
 - ・各種イベントへの参加
 - ・ウィスコンシン州及び同州との交流に関する情報収集

令和4年度 収入・支出予算

1 収入の部 単位:千円

科 目	4年度(A)	3年度(B)	A-B	備 考
会 費	608	614	△ 6	
補 助 金	1,150	1,150	0	
県運営費補助	150	150	0	
県事業費補助	1,000	1,000	0	
交流事業等参加費	255	255	0	食文化交流会
繰 越 金	3,018	2,424	594	
計	5,031	4,443	588	

2 支出の部 単位:千円

科 目	4年度(A)	3年度(B)	A-B	備 考
運 営 費	297	285	12	印刷費、消耗品費等
事 業 費	2,862	2,783	79	
会 議 費	150	150	0	理事会、総会
友好使節団派遣・受入事業	1,900	1,900	0	友好使節団受入費用受入報告書
会員等交流事業	255	255	0	交流会経費
広 報 事 業	557	478	79	CWA NEWSの発行
予 備 費	1,872	1,375	497	
計	5,031	4,443	588	

令和4年度 千葉ウィスコンシン協会の役員・運営ボランティア (令和4年8月1日現在)

役 職 名	氏 名	所 属 等	役 職 名	氏 名	所 属 等
特別顧問	熊谷 俊人	千葉県知事	理 事	宮崎 義政	千葉県太鼓連盟会長
顧 問	長谷川 孝夫	鴨川市長		高橋 秀行	千葉県酪農農業協同組合連合会代表理事会長
	太田 洋	いすみ市長		深山 和利	千葉県立成田国際高等学校校長
会 長	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社取締役名誉会長 取締役会議長 (ウィスコンシン州名誉大使)		富沢 昇	千葉県総合企画部地域づくり担当部長
副 会 長	大石 道夫	公益財団法人かずさDNA研究所理事長	監 事	中村 耕太郎	公益財団法人千葉県産業振興センター理事長
	大澤 克之助	株式会社千葉日報社代表取締役社長		奥泉 和則	独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 千葉貿易情報センター所長
	佐久間 英利	一般社団法人千葉県商工会議所連合会会長	【運営スタッフ】		
	信太 康宏	公益財団法人千葉県文化振興財団理事長	派遣・受入事業部会		
常務理事	伊藤 稔	公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー代表理事	会員等交流事業部会		
理 事	青柳 洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長	事務局		
	伊藤 浩行	学校法人東京理科大学理工学部部長	清水 和生(アドバイザー)		
	金子 庄吉	一般社団法人千葉県経済協議会会長	森山 茂男(委員長)		
	三枝 紀生	一般社団法人千葉県経営者協会会長	安藤 忠男(事務局長)		
	井上 広滋	国立大学法人東京大学 柏キャンパス リエゾン室長 (物性研究所教授)	〇青木 靖子		
	佐久間 英利	千葉県経済同友会代表幹事	小川 鉄次		
	龍野 一郎	千葉県立保健医療大学学長	浅沼 明夫		
	中山 俊憲	国立大学法人千葉大学学長	笹生 健司		
			〇印は部会長		
			【イベントスタッフ】		
			角田トミ子		
			慶児 聡子		
			薄井まどか		
			加藤 由恵		
			小川 智子		
			〇宮崎 忠夫		
			Maximilian Gumble		
			【PRスタッフ】		
			榎田 直美		

【編集後記】

今年は久しぶりに交流会を開催することができ大いに盛り上がりました。南行徳花組の皆さんのお陰でまるで会場の参加者も巻き込んだ大盆踊り大会のような熱気に包まれ、直接顔を合わせる醍醐味や楽しさを存分に味わいました。今後もコロナの影響が続きますが、交流活動の再開に向けて取り組んでまいります。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟 14階 (公財)ちば国際コンベンションビューロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)

